

# 保健師

## シリーズ⑤

# 「健(検)診申込調査票」のお知らせ

## 平成24年度の健(検)診の予定を立てましょう



医療機関にかかる時はどんな時ですか。体がだるい、痛いなどといった自覚症状が出た時でしょうか。糖尿病や腎臓病、高血圧症、がんなどの病気の初期には、自覚症状はほとんどありません。自覚症状が出た時には、すでに病気が進行していることが多くあります。大切なのは、自覚症状がない早期に病気を発見することです。

定期的ながん検診や血液の検査は、自覚症状が出ていない体の状況を的確に知らせてくれます。

町では、皆さんが健康で明るい生活が過ごせるよう、健(検)診を実施しています。今月号の広報かさまつに「健(検)診申込調査票」が入っていますので、記入上の注意を参考に記入し、提出してください。健(検)診を申し込まれた方には、健(検)診の前に個別に案内します。

【調査対象者】平成6年4月1日以前に生まれた方

【調査期間】2月1日(水)～15日(水)

【提出先】役場・福祉健康センター・松枝公民館・総合会館

【問合せ先】福祉健康課

※調査票は、平成23年度に受診していない方で新たに受診を希望される方のみ提出してください。

※健(検)診の日程・自己負担金などは、健(検)診申込調査票の裏面「平成24年度健(検)診予定」をご覧ください。

※結核住民健診・はつらつ健診(40・45・50・55歳の健診)は、対象者の方に個別に案内します。

※特定健診(40～74歳の健診)、ぎふ・すこやか健診(75歳以上の健診)は、医療保険者の実施となりますので、国民健康保険・後期高齢者医療保険の方に通知します。これらの保険以外の方は、ご自分が加入している医療保険者へご確認ください。

## かさまつの民話『昔むかし』

### マリア像②

重蔵一家のるす中にやってきた又吉が、だれもない重蔵の家へはいりこみ、一人で遊んでいたある日のことである。

たいくつした又吉は、奥の部屋をのぞきに行った。そして、納戸の前まで来ると、そのとびらを何気なく開いた。すると、そこには、青い目をして鼻が高く、子どもをだいた観音さまのかけじくがつるしてあった。びっくりした又吉は、いつか重蔵さまに聞こう聞こうと思いながら、そのままになっていたのである。そして、今の今まで、すっかり忘れてしまっていた。

「まさか、あの重蔵さまが…。」

しかし、思い出してみると、わけのわからないおいのりの声など、ふしぎなことが思い浮かんだ。

「おとう、おかえり。お米こうてきた。」

腹をすかせた子どもたちが、奥の方から弱々しい声でたずねた。又吉は、返事につま

って、

「あ、ああ…。」

と力なく答えた。

又吉の田んぼは五反しかない上に、去年からの不作で、残しておいたお米もすっかり食べつくしてしまい、家族は、きのうから何も食べていなかった。けさも家を出るとき、

「何とかぜにをかせいで、お米をこうてくるな。」

と言いのこし、朝から笠松の町を歩きまわっていたのである。

又吉は、わらじもぬごうとせず、こしをおろすと、さっき見たマリア像と重蔵のことを考えていた。

「おとう、おなかすいたようー。」

末の娘の泣き声で、又吉は、ふとわれにかえった。(つづく)